

さくら教室だより

カラー版は九小のHPで公開しています。



令和6年9月10日
東久留米市立第九小学校
校長 山本 真美 枝
特別支援教室 担任



2学期が始まりました



夏休みも終わり、先週から2学期が始まっています。

児童とも1か月以上ぶりに会いましたが、みんな充実した時間を過ごせたようでよかったです。

2学期は一番長い学期です。残暑は厳しいですが、体調管理をしっかりと行いながら、学校生活を充実させたものにしてほしいと思います。



< 2学期の予定 >

※予定は変更することもあります。あくまで目安としてお考えください。

9月9日(月)指導開始

11月5日(火)面談期間 開始予定

12月16日(月)指導終了

12月18日(水)巡回終了

12月20日(金)面談期間 終了予定



【連携型個別指導計画について】

※以下にある指導計画は架空の児童のものです。

東久留米市連携型個別指導計画 No.2 様式10
作成日: 令和5年10月31日

ふりがな	ひがしくるめ たろう	性別	学年・組
児童氏名	東久留米 太郎		
在籍学校名	東久留米市立第九小学校	在籍学級担任名	
		特別支援教室担当名	

適宜する上での具体的な児童像
(1) 相手の気持ちを考え、自分の行動をコントロールすることができる。
(2) 集団に合わせて、気持ちを切り替えて考え行動することができる。

在籍学級での短期指導目標と達成までの取組期間 (令和5年4月～令和5年10月)	短期指導目標の達成状況についての評価 (評価日: 令和5年10月31日)
短期指導目標 (1) 相手が不快になる言葉を使わない。 (2) 一斉指示で行動できる。	○ △
手立て (1) 不適切な行動が見られたときは、その場で声をかけ、修正する。 (2) 口頭指示だけでなく、視覚支援を行いながら手立てのあと、個別にも声掛けをする。	○ △

特別支援教室での短期指導目標と達成までの取組
(令和5年4月～令和5年10月)

短期指導目標 (1) 友達と適切な距離感を維持しながら協力することができる。 (2) 嫌なことがあるときは、自分なりの手段で気持ちを切り替えることができる。	◎ ○ △
手立て (1) SSTを通じて、相手と自分では嫌だと感じる点があることを理解させていく。 (2) 怒りなどの落ち着かなくなる感情を視覚的に見える化しながら、アンダーゲームメントを教える。	◎ ○ △

作成時の記録欄
校長 在籍担任 特別支援担任 保護者

評価時の記録欄
校長 在籍担任 特別支援担任 保護者

～面談に御協力いただき

ありがとうございました～

6月から7月にかけて、各学校で個人面談を行いました。1学期のさくら教室での様子をお伝えするとともに、御家庭や学級での様子などもお伺いしました。一人一人の課題はそれぞれ違いますが、これからも御家庭や学級と連携していきたいと考えています。

個別指導計画は、学級の通知表と違い、前期・後期と2回作成されます。これはさくら教室の通知表のようなものです。児童の成長と課題の把握にお役立てください。2学期の面談では、【連携型個別指導計画】に所見と◎、○、△の三段階評価を入れて、お見せします。

退室までの一つの目安にしていきたいと思っております。

【さくら教室のちょこっとコラム】

○ICT 機器との付き合い方

G I G Aスクール構想が始まり、一人一台端末が貸与されています。また、それ以上にご家庭にはICT機器で溢れていることと思います。例えば、スマートフォンやタブレット、さらに最近のゲームはただ遊ぶだけでなく、インターネットにつなげて、様々な人とやりとりを行うことも可能です。いまや日常生活には欠かせないICT機器ですが、その危険性も認識しながら使わないと、悪い影響がでることもあります。



ICT 機器のメリット

- ① 直感的に操作できる
- ② 様々な支援アプリが充実している
- ③ 個別最適な学びの支援に有効



ICT 機器は特別支援教育にとって必要不可欠なデバイスになっています。このことについて、文部科学省が公表しているレポートによると、発達障害とされる子どもの数は約22万人おり、そのため「障害の状態や特性やそれに伴う学びにくさは多様かつ個人差が大きく、〈特別な支援が〉が必要」と言われています。ICT を上手に活用することで、発達障害によってこれまで発揮できなかった子どもが本来持っている力を十分に発揮できる環境を整えることが、これからの教育に求められています。

ICT 機器を使うときに気を付けたいこと

- ① スマホやタブレットは直感的に操作でき、反応も速いため、それが刺激となり、長時間使用することにつながりやすい。
- ② 興味のあることをAIが学習しどんどん紹介してくるので、興味があることにのめり込みやすい特性があるとやめられなくなる。
- ③ 基本は文字情報なので、行間を読むのが苦手な特性があると情報の整理が難しい。



特性を理解した上で、ルールを決め、上手に活用することが大事ですね。

参考サイト

- ① 文部科学省 StuDx Style [各教科等での活用：文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)
- ② 文部科学省 [各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料：文部科学省 \(mext.go.jp\)](https://www.mext.go.jp)
- ③ 東洋経済オンライン [児童精神科医に聞く「発達障害とネット依存の関係」、周囲の大人に必要な視点 ICTはプラスの影響もマイナスの影響も大きい | 東洋経済 education×ICT \(toyokeizai.net\)](https://toyokeizai.net)